



有松まちづくりの会役員会 （6月24日）

5月22日に行われた総会の決議事項や会則の追加事項（役員の就任要請・慶弔規定）、主要事業の実施体制やそのスケジュールについて確認しました。また、3月の「有松を語ろう会」での意見を集約したものから、それを具体的に生かしていくためのアイデアを来月までに寄せることとなりました。

10月26日に実施される緑区区民まつりで、有松のまちをPRすることとしました。



（花屋Luore提供）

今月の花 ひまわり

㊦舁屋の賑わい① "六弦とコットン" （5月20日～27日）

井桁屋向い㊦舁屋の周辺はいつも人影が絶えることはありません。舁屋の主屋は幕末建造の間口10間の大店。現在は主屋や付属屋を1～2間に小分けして貸し出しています。賑わいのヒントはここに。

5月23日、「六弦とコットン」は店先にまで人があふれていました。展示室ではアルパの演奏が行われ、壁面には南米パラグアイの伝統工芸品「ニャンドゥティ」が所狭しと掲げられていました。刺繍品のように見えたが、よく見ると織ってあります。作者 長野珠良衣（みらい）さんの「ニャンドゥティ&テディベア展」をきっかけに演奏会が企画されたとのことでした。

"六弦とコットン"はまさに出会いの場です。



愛知学院大学 村田ゼミ有松研修 （5月24日）

日本遺産事業の一環として2019年から2021年にかけて「30年後、有松はどうなっているのか」を考えるワークショップが行われました。その取り組みに初年度から関わってくださったのが、愛知学院大学の村田尚先生。そのゼミ生が"モス アリマツ"で研修です。

現在有松では、古民家の利活用をいかに進めるのかが課題となっています。その実践例として"モス アリマツ"に学ぶ、とのです。町並み見学の後、共同代表の武馬淑恵さんから設立の経緯や古民家再生の工事の様子についての説明がありました。



特集 第40回 有松絞りまつり (6月1日～2日) 有松東海道一円

2日間で約8万5千人の人出。多くの人が絞り製品を求めに来て下さいました。開会セレモニーでは絞りで作られた名古屋グランパスの新エンブレムが披露されました。



東海道の賑い



開会セレモニー 名古屋グランパス山口氏(左)
河村市長(中央)・山上絞りまつり実行委員長(右)



名古屋グランパス新エンブレム



買い物風景(左:絞会館/右:竹田嘉兵衛商店)



有松屋台村



産地職人による絞り実演/若手絞り職人による実演



町並みツアー(受付と案内風景)



うちわづくり/有松中学校生徒の取り組み紹介



甲冑体験



(桶狭間古戦場保存会)/緑区観光推進協議会

《絞り体験》

雪花絞り: 祇園寺境内



絞り体験教室は、今年も大盛況でした。3つの絞り体験はそれぞれ特徴があります。

雪花絞りは子どもから大人まで楽しめます。手蜘蛛絞りは参加者の技量が試されるかな。絞り教室プレミアムではストール制作。本格志向の人向け。
絞り教室プレミアム(早恒染色)



手蜘蛛絞り: 絞りLab前駐車場



《山車飾り/からくり実演》

「いつやるの」からくり公演の時間をよく聞かれました。



山車飾り・山車衣装展示



布袋車



唐子車



神功皇后車



中町年行司

《40回記念特別展示》

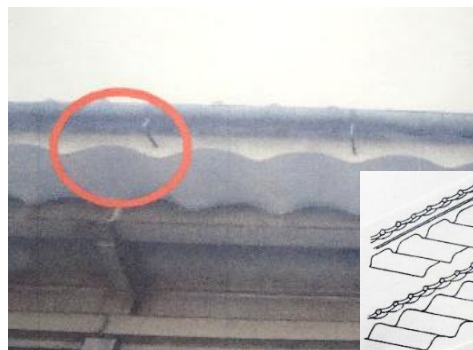
右写真は第9回(1993)で展示された「絞り十二単」です。皇太子殿下(当時)、雅子様のご成婚を記念し、平安の美裳、絞りの十二単が制作されました。 展示: 棚橋家住宅



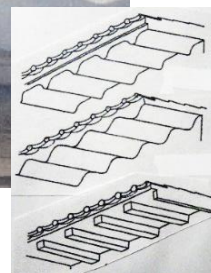
岡家住宅の魅力③ 軒裏の波型塗籠(ぬりごめ)

防火のため外壁や軒裏が漆喰で塗籠られている。垂木を覆って波の形に塗籠られており、美しい形状を見せている。形状はやや違うが、東竹や向いの加藤家住宅にも見られる。旧山田薬局のものは垂木の形(角材)がよくわかる。いずれも江戸期のものようである。専門家によれば、明治になると軒裏に平板を打ち付けて軒裏を平坦にして塗籠るようになっていたとか。

波型と言え、岡家住宅の窯場の壁面も特徴的である。防火のため柱や梁が塗籠られ、壁が波打つようになっている。有松では現存唯一のものであるらしい。



岡家住宅の軒裏



東丘小学校3年生 有松で情報収集（6月6日）

「まちの自慢を紹介しよう」の発表の為、3年生のうち約80人が有松に見学に来ました。事前学習で疑問に思った事30余りの質問を携えて。案内のあないびとの会の皆さんもより分かりやすい説明に努めていました。一言も聞き漏らすまいと、ひたすらメモを取る子も少なくありません。質問の中には、「一日何人有松に来るのですか」「一番売れているものは」など答えに詰まるものもありました。



連載 有松におみせを構えて ③ 工房 ゆはたや

絞会館向いに"丁寧な絞り工房"を目指しているお二人のお店があります。ぜひとも足を運ばれてはいかがでしょうか。"ゆはた"とは絞り染めの古い呼び名とか。

▶ どうして有松にお店を構えることにしたのですか？

今から30年以上も前、ゆはたやの二人はここ有松で初めて絞り染に触れました。以来、人に恵まれ幸運にも絞りを仕事にすることができました。現役を終えた時、多くの方のご縁で有松にお店を構えることができ、そのお店も12年を迎え今に至っています。感謝でしかありません。

▶ これまでのご苦労や喜びは？

お店を始めて、大きなご褒美がいただけることに気付きました。お客様から「わぁ〜可愛い」「とってもステキですね」という感想をいただいたとき、心がホッコリとほぐれます。嬉しい言葉が聞かれるのは、作り手冥利に尽きます。その言葉を糧に、もっと良いものを作りたいと努力します。それが私たちを育ててくれます。

▶ これからのこと、こんな町になって欲しいという願いは？

目標は、一日も長く"新しいものを創り続けること"です。その為に気力・体力は少しだけセーブ。「これも絞りなんですよ」とお客様に言えるようになりたくて、これからも二人で制作に励んでいきます。絞りの概念を少しでも広げることができたら、有松への恩返しと思っています。



営業時間 10:00~16:30 / 定休日 水曜日(仕入れの為 不定休あり) ☎ 052-621-5758

「デザイン・絞・染色全て工房ゆはたやで作っています。」

店内の商品は全て一点物です。お気軽にお立ち寄りください。」

催事・行事予定

- | | | | |
|----------|-------|----------------|----------------|
| 7月22日(月) | 18:00 | 有松町並み相談会 | 有松コミセン |
| 7月27日(土) | 13:00 | うちわ作りワークショップ | 有松コミセン 有松小PTA |
| | 15:00 | 子ども縁日 絞会館バス駐車場 | 〃 |
| | 19:30 | 有松小150周年記念花火 | 有松小グランド 〃 |
| 7月28日(日) | 7:30 | かえで道清掃 | 有松まちづくりの会 |
| | 10:00 | 有松伝統文化親子教室2024 | 竹田家住宅 |
| | | | NPO法人コンソーシアム有松 |
| 7月29日(月) | 18:00 | 有松まちづくりの会役員会 | 有松コミセン |

発行者 中濱 豊(有松まちづくりの会 会長)

編集者 加藤明美(有松まちづくりの会 広報部長)

pegasusb@mc.ccnw.ne.jp 取材・撮影 伊藤総俊

有松まちづくりの会はホームページを公開しています。



有松・鳴海絞会館駐車場

6/12より駐車券のない有料駐車場になりました。